

地域に根ざして半世紀 本当に必要な医療・介護で 利用者一人ひとりの想いに応える

目黒
医療生活協同組合

目黒医療生活協同組合(代表理事松尾信彦、上目黒診療所…目黒区上目黒、西小山診療所…目黒区目黒本町、03・3716・2258)は、設立から50年、目黒区を中心に地域に根ざした医療と介護の事業を展開している。上目黒診療所・西小山診療所の2つの診療所では、外来の診察から24時間対応の訪問診療まで、地域の方々に役立つ医療を提供している。

ふらつと気軽に立ち寄ってもらえるような親しみやすい診療所をめざしており、医療だけでなく暮らしにかかわる相談にも応じている。健康診断にも力を入れ、目黒区特定健康診査や企業検診などさまざまな種類がある。

介護関連も手厚く、患者さんに介護が必要になったら、すぐにサービスが提供できるネットワークが一番のアピールポイントである。訪問看護ステーションでは、ご家庭で療養生活を送る方に対し、医師の指示に基づいて定期的に看護師が訪問を行っている。2つの



上目黒診療所



西小山診療所

デイサービスでは、介護保険を利用している高齢の方を中心に、朝夕方までゆったりお過ごしいただくことができる。手作りの昼食も好評を博している。2つのヘルパーステーションは、炊事や洗濯などの家事や、入浴や食事、排泄などの身体介護を行い、ご利用者の暮らしを支えている。介護保険利用の計画を立てるケアマネジャーがいる事業所も2つ運営し、個人の生活を尊重する計画づくりに重点を置く。どのサービスでも患者さん、利用者さんに寄り添う気持ちを大切にしている。

生活協同組合は、地域の方々が自分たちにとって必要な医療や介護事業のために自ら出資金を出し合って設立された、非営利の法人である。一人ひとりの想いに応えるべく職員は奮闘している。各診療所で行われる毎月の食事会や、茶話会、映画会、健康体操教室、健康まつり、バス旅行などイベントも多い。もっとたくさんの方々に出会い、役立つ医療生協をめざしていきたい。